



すぎなみ 環境ネットワークだより

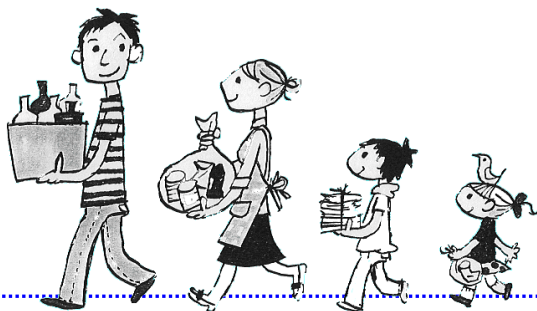
URL <http://www.ecosuginet.jp/>

すぎなみ環境ネットワーク事務局 〒167-0051 杉並区荻窪 5-15-13 TEL 03-5347-2255
 あんさんぶる荻窪 4F 環境情報館内 FAX 03-5347-2299
 杉並区リサイクルひろば高井戸 〒168-0072 杉並区高井戸東 3-7-4 TEL 03-3331-4360
 FAX 03-5336-7351

あなたも集団回収に参加しませんか

今、どこでも、ごみの処理と同時に資源の再利用が行われています。杉並区でも「杉並区一般廃棄物処理基本計画」により、ごみ減量と資源の再利用を図っています。区民一人 1 日あたりのごみ排出量は 23 区で二番目に少なく、資源の回収量が増えてきました。（平成 21 年度）

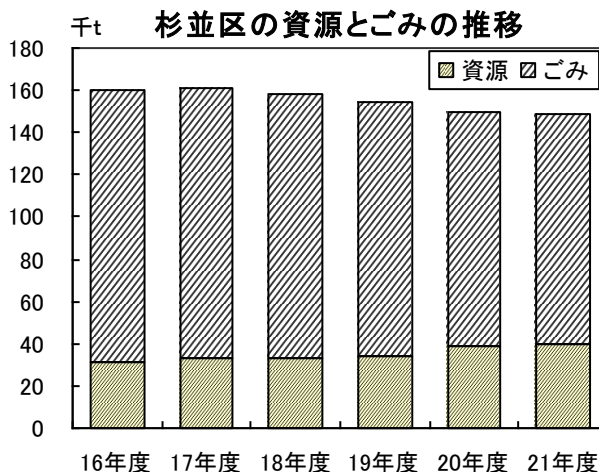
資源回収には、ごみ集積所に出す「行政回収」、店頭の回収ボックスなどの「拠点回収」がおなじみですね。もう一つの方法に「集団回収」があり、区民による自主的な活動として続いています。二世帯からの立ち上げ可能、行政の支援を受けられる等、メリットもたくさんあります。



資源回収はごみの減量に貢献しています

区内の家庭からのごみは、着実に減少しています。（過去 5 年間で 15% 減）
 ごみと資源の分別方法の変更により、不燃ごみが減り、プラスチック容器包装を資源に活用し、資源回収量が増えたことが主な要因です。（26% 増）
 従来の資源物の回収も少しずつ増えています。

なお、これには新聞配達所などの事業者により回収された資源や集積所から持ち去られた資源などは含まれていません。



集団回収の輪が広がっています

平成 11 年度には、行政回収として区内全域での資源回収がスタートしました。品目は、古紙・びん・缶でした。その後、平成 20 年度年にはペットボトル、プラスチック製容器包装も回収品目となりました。

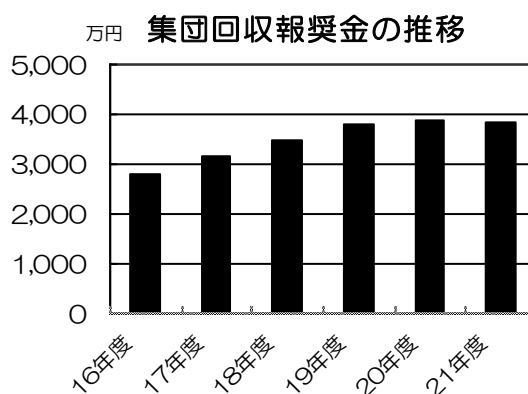
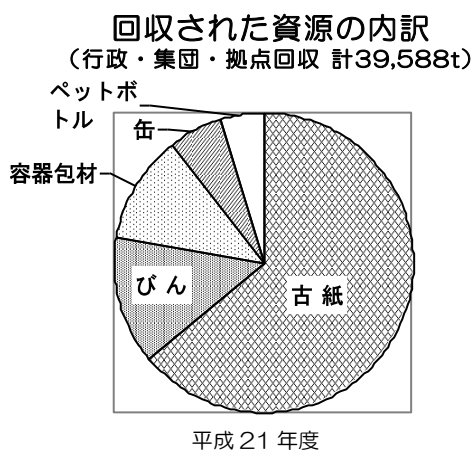
回収された資源重量の 2/3 は、新聞紙などの古紙です。

集団回収では古紙が 94% を占めています。

集団回収は、参加する方が家庭の資源を持ち寄り、直接回収業者に引き渡す自主的な活動です。回収された資源の量に応じて、区から**報奨金（6 円/kg）**が支払われます。報奨金は、各グループの活動資金として、地域防災や会員交流、敬老会や子供会の行事等に有効に使われているそうです。

集団回収登録団体は、約 395 団体です。（平成 22 年 3 月末現在）

区からの報奨金の推移をみると、年々増えており、集団回収の輪は、ゆっくり広がっていることがうかがえます。



～ 参加者の声 ～

集団回収で地域のつながりが強くなった

集団回収のメリットとして、

1. 区からの報奨金がもらえる
 2. 地域のつながりが活性化される
 3. 資源の抜き取り対策に効果がある
 4. 良質な資源を集めることができる
- などがあげられます。

4 つの団体の方に体験談やご意見をお聞きしました。経験や規模はさまざまですが、「集団回収を行って地域のつながりが強くなった」と共通の感想でした。介護や防災などで、地域力が問われている今日、興味の深いお話です。

★★★ 宮前三丁目会 ★★★

報奨金のおかげで町会費は年間 600 円です！

宮前三丁目会は、1300 世帯の町会。平成 13 年から集団回収を始めました。平成 19 年からは、地区回収団体となり、会員以外の方も参加してもらっています。最近では、毎週、新聞、雑誌、牛乳パック、古布、段ボール、アルミ缶を回収しています。



防災倉庫とリヤカーを購入

年々協力いただく方が増え、報奨金は 100 万円を超えるようになりました。集団回収の報奨金が入るので、町会費は年間 600 円に据え置いたままです。

町内バス旅行、小学校入学や中学校卒業、成人のお祝、夏休みラジオ体操の景品、敬老会の赤飯やお花の配付、パトロール隊の装備、防災倉庫、テント、リヤカーの購入など、いろいろな町内活動の補助金として使っています。一昨年、町内会発足 60 周年を迎えましたが、記念誌の発行や枝垂れサクラの記念植樹にも充てることができました。

★★★ 阿佐谷南二丁目杉の子睦会 ★★★

集団回収を始めて周囲との関係が広がりました！

阿佐谷南二丁目の「杉の子睦会」は、138 世帯のこじんまりした町会。集団回収を始めて 1 年半になります。

四年前に就任された町会長は、この時が地域デビュー。地元との関係づくりのために、行政が持ち帰らなかったごみの分別や「杉の子通信」の発行などから始められたとのこと。

平成 21 年度から町会で集団回収を開始。それが軌道に乗ると、もう少し回収量を増やしたいとの声が出始めた。そこで、道路を隔てた隣の町会に交渉して回収に加わってもらった。町会を超えた「学院通清掃協力会」を作り、地区回収団体として登録。地域のごみ収集ボックスも整備しました。



町内の道路は、すっきり片付いています

集団回収の輪が広がると周囲との関係が広がる。街もきれいになるなど、期待以上の成果が出たようです。

街づくりや防災、介護などには地域力が不可欠です。集団回収が地域づくりに役立っている素晴らしい事例でしょう。

★★★ 中通明和会 ★★★

報奨金は災害時用に積み立てています！

町会のエリアは、今川 1・2・3 丁目及び
桃井 1 丁目の一部と 2 丁目の全域。平成 17
年 9 月に集団回収を始めました。

募金活動の実績もあり、その結束力を活かし、
新聞・雑誌はほとんど集団回収へ移行、
大きな成果を上げています。



中通明和会作品展

回収日や収益金を含む実績報告を随時回
覧し、協力を呼びかけています。登録世帯
数 1600 世帯、回収拠点 61 箇所。平成
21 年度報奨金額は、約 84 万円でした。

「地域の安全は住民自らが守る」という
高い意識のもと、収益金は災害時用に積
み立てています。

集団回収以外にも、町会の皆さんの絵画・
陶芸・工芸・手芸品等の作品を展示する『作
品展』を毎年開催するなど、地域のつなが
りを密にする様々な活動をしています。

★★★ 浜田山デュープレックス ★★★

マンション中庭の植栽を楽しんでいます！

集団回収参加は平成 15 年 6 月からです。
回収品目は新聞、雑誌、ダンボール。

全世帯（12 世帯）が参加し、収益はマンシ
ョン中庭の植栽に活用しています。平成 21
年度報奨金額は 約 14,500 円でした。

中庭に植栽用大鉢 1 個、中鉢 3 個を購入。
「中庭会」をつくり、花を植え、手入れを楽
しんでいます。この中庭での作業はマンシ
ョン住人のコミュニケーションの場になっ
ており、小規模集合住宅の良さを感じます。



中庭の植栽は大小 4 つの鉢の中

ちょっとひとやすみ

★集団回収支援物品

「集団回収表示旗」、「台車」、「紙ひも」、
「軍手」、「腕章」などが支給されます。

★★★ 回収業者のご意見も伺いました ★★★

出す方が手間をかけないように、努力しています！

感想

く 分別の意識に差がありますね >

- ☆ 古くからの町会では、分別のルールが徹底しています。集団回収参加の歴史が長く、意義もよく伝わっているからでしょう。
- ☆ 世代交代や勤務地の移動で、管理者が替わると、分別がおろそかになることもあります。
- ☆ 集積所に出せば、管理人が後始末をしてくれるマンションなどの集合住宅は、最近、分別が甘くなっているようです。
- ☆ リーダーや管理者の分別に対する意識の違いが大きいと思います。
- ☆ 行政回収の分別は、開始前の予想より良いと感じます。

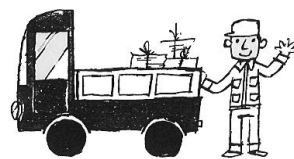
★ 資源の持ち去り ★

資源回収に出されたものを勝手に持ち去ることで違法行為です。区は平成 21 年 5 月から罰則を規定した条例を施行しています。集団回収や地区回収を行い、持ち去り業者が入り込むスキをつくらないことが効果的です。

意見

く 持ち去り対策、CO₂削減にも役立つかと思います >

- ☆ 持ち去り対策として、集団回収団体への登録が有効です。
- ☆ 同一地域での回収拠点を増やして回収団体の負担を減らすことに協力できます。同一地域 100%の参加があれば、なお実施しやすい。事業者としての希望は、回収団体内 100%の参加です。
- ☆ 自区内事業者による回収はCO₂の発生抑制に効果的です。杉並区には紙問屋が多く、区内事業者が回収、区内の紙問屋へ卸すルートでは、運搬車両の移動距離が大変短いのです。
- ☆ 集団回収は、安定して続けられることが大事です。区内事業者は信頼性、安定性に自信があります。



★ リヤカーと天秤ばかり

民間での資源回収の歴史は古く、運搬にリヤカー、計量に天秤ばかりが使われた時代もありました。

ちょっとひとやすみ

～ 集団回収ミニヒストリー ～

- ・昭和 40 年代：「夢の島」ハエ騒動を発端に「杉並ゴミ戦争」を経て高井戸清掃工場が建設された。資源の再利用によるゴミ減量が進められる。
- ・昭和 49 年：都からの交付金による集団回収報奨金支給制度開始。杉並区も 17 団体による集団回収がスタート。その後、リサイクル法施行をうけ、区の担当課設置、集団回収の要件変更も行われた。
- ・平成 11 年：更なる資源再利用をめざし、区内全域のごみ集積所での資源回収の開始（「資源の日」行政回収）。同時に集団回収事業が整理され、報奨金支給団体への一本化により、参加団体が半減した。
- ・平成 12 年度より集団回収事業を杉並リサイクル協会が引き継ぐ。
- ・平成 15 年：杉並リサイクル協会は NPO 法人すぎなみ環境ネットワークと組織を改め、集団回収事務を引き継ぐ。
- ・平成 19 年：2 世帯からの小規模団体登録、地区回収団体登録制度を新設。集団回収業者の登録制度の開始。これにより集団回収実施団体や新規に始めたい団体への業者情報を提供する。
- ・平成 22 年 3 月末現在の団体登録数：395 団体。

集団回収に参加するには

まずは、すぎなみ環境ネットワークにご連絡ください。すぎなみ環境ネットワークは、杉並区から集団回収事業の事務を委託されています。

～ お問い合わせは ～

NPO 法人すぎなみ環境ネットワーク

TEL : 03-5347-2255 FAX : 03-5347-2299

〒167-0051 杉並区荻窪 5-15-13 あんさんぶる荻窪 4F



★ 集団回収の始め方と手続き ★

① 参加者を集めます

町会・自治会、マンションや地域のグループで参加者を集め、団体を作ります。2 世帯以上集まれば登録できます。

※2 世帯から9世帯の小規模団体は、実施方法が異なりますので、お問合せください。

② 団体名、団体代表者、担当者、役割分担

団体の名称、団体代表者、担当者、役割分担を決めます。

③ 資源回収業者の選択と協議事項

杉並区集団回収登録業者一覧より資源回収業者を選び、以下の内容を業者と協議のうえ決めます。一覧は郵送でお届けします。

- ・回収品目
- ・回収日と回収回数
- ・回収品の集積場所

④ 登録団体口座開設

報奨金を振り込むための登録団体名義の金融機関の口座を開設します。

⑤ 登録申請書を提出します

登録申請書と合わせて報奨金振込口座届をすぎなみ環境ネットワークへ提出します。

※申請用紙は、すぎなみ環境ネットワークに用意してありますが、ホームページからダウンロードもできます。

⑥ 登録完了のお知らせ

登録完了後、すぎなみ環境ネットワークより送付する登録申請書（写）、集団回収実績報告書綴り、集団回収拠点の「のぼり旗」を受け取ったら、集団回収の開始です。

★ 集団回収の開始後 ★

① 集団回収実績報告書を提出します

回収実施後20日以内に実績報告書をすぎなみ環境ネットワーク事務局へ提出してください。

※集団回収実績報告書は報奨金支給の基本となります。

② 登録内容の変更について

登録内容（団体名、代表者、担当者、口座名義、回収業者、回収品目等）に変更が生じた場合は、すぎなみ環境ネットワーク事務局へ 変更届の提出が必要となります。

詳細は、すぎなみ環境ネットワーク（上記）へお問合せください。



すぎなみ環境ネットワークでは、ボランティアの事業委員会も集団回収事業のお伝いをしています。最近の活動は、

★荒川区と中野区を訪問し、集団回収の実情やその経過をお聞きました。

★また、清掃事務所（杉並、方南）を訪問し、集団回収 PR の進め方を話し合いました。

すぎなみ環境ネットワーク事務局と共に、活動中です。どうぞ、よろしくお願いいたします。